

# 文教福祉常任委員会会議記録

日 時 平成28年4月11日（月曜日）

午前10時 2分 開議

場 所 水戸市議会 第3委員会室

午前11時 1分 散会

## 付託事件

(1) 平成27年請願第1号, 平成27年請願第2号, 平成27年請願第6号

(2) 所管事務調査

## 1 本日の会議に付した事件

### (1) 請願審査

① 平成27年請願第1号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出を求める請願

② 平成27年請願第2号 「県立学校の存続と高校の少人数学級実現を求める意見書提出」に関する請願

③ 平成27年請願第6号 学校図書館に専任の学校司書の配置を求める請願

### (2) 報告事項

① 平成27年度水戸市スーパープレミアム商品券事業の実績及び効果について

(子ども課・高齢福祉課)

### (3) その他

## 2 出席委員（6名）

委員長 田 口 米 蔵 君 副委員長 堀 江 恵 子 君

委員 田 中 真 己 君 委員 木 本 信 太 郎 君

委員 高 倉 富 士 男 君 委員 袴 塚 孝 雄 君

## 3 欠席委員（なし）

## 4 委員外議員出席者（なし）

## 5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長 秋 葉 宗 志 君

保健福祉部長  
兼福祉事務所  
所 長 根 本 一 夫 君 保健福祉部  
参 事 長 須 賀 良 明 君

福祉事務所  
参 事 兼  
子ども課長 柴 崎 佳 子 君 保健福祉部  
参 事 兼  
国保年金課長 川 津 英 臣 君

保健福祉部  
参 事 兼 保健  
センター所長 大 曾 根 明 子 君 福祉総務課長 小 山 忠 君

生活福祉課長	齊	藤	博	之	君	障害福祉課長	平	澤	健	一	君	
高齢福祉課長	谷	津	好	行	君	介護保険課長	荻	沼		学	君	
保健所準備 課長	小	林	秀	一	郎	君						
消 防 長	清	水		修	君	消 防 次 長	大	津	孝	司	君	
消防本部技監	綿	引	信	明	君	消 防 本 部 参 事 兼 消防総務課長	小	泉	直	紀	君	
消 防 本 部 参 事 兼 消防救助課長	大	越	唯	行	君	北 消 防 署 長	鈴	木		豊	君	
南 消 防 署 長	石	川		隆	君	火災予防課長	大	内	康	弘	君	
救 急 課 長	石	田	宏	一	君							
教 育 長	本	多	清	峰	君	教 育 部 長	七	字	裕	二	君	
教育委員会 事務局教育部 参 事	今	川	宗	男	君	教 育 委 員 会 事務局教育部 参 事 兼 学校教育課長	鈴	木	秀	樹	君	
教育委員会 事務局教育部 参 事 兼 中央図書館長	五	上	義	隆	君	総合教育研究 所 長	小	野	司	寿	男	君
教育企画課長	三	宅		修	君	幼児教育課長	鈴	木		功	君	
学校施設課長	埴		敏	之	君	生涯学習課長	大	澤	秀	樹	君	
歴史文化財 課 長	白	石	嘉	亮	君	総 合 教 育 研究所副所長	小	川	佐	栄	子	君
内原中央公民 館 長	龍	田		理	君							

6 事務局職員出席者

書 記	嘉	成	将	大	君	書 記	大	内	し	お	り	君
-----	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---

午前10時 2分 開議

○田口委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから文教福祉委員会を開会いたします。

それでは、議事に入ります前に、4月1日付をもちまして人事異動がございましたので、まず初めに、出席説明員のうち、変更がありました役付職員につきまして紹介を願います。

それでは、保健福祉部、消防本部、教育委員会の順に、順次紹介を願います。

○根本保健福祉部長兼福祉事務所長 おはようございます。

異動のありました保健福祉部職員を御紹介いたします。

参事兼国保年金課長の川津英臣でございます。

○川津保健福祉部参事兼国保年金課長 川津です。よろしくお願いいいたします。

○根本保健福祉部長兼福祉事務所長 参事兼子ども課長の柴崎佳子でございます。

○柴崎福祉事務所参事兼子ども課長 柴崎です。どうぞよろしくお願いいいたします。

○根本保健福祉部長兼福祉事務所長 福祉総務課長の小山忠でございます。

○小山福祉総務課長 小山でございます。どうぞよろしくお願いいいたします。

○根本保健福祉部長兼福祉事務所長 生活福祉課長の斉藤博之でございます。

○斉藤生活福祉課長 斉藤です。どうぞよろしくお願いいいたします。

○根本保健福祉部長兼福祉事務所長 障害福祉課長の平澤健一でございます。

○平澤障害福祉課長 平澤です。よろしくお願いいいたします。

○根本保健福祉部長兼福祉事務所長 介護保険課長の荻沼学でございます。

○荻沼介護保険課長 荻沼でございます。よろしくお願いいいたします。

○根本保健福祉部長兼福祉事務所長 保健所準備課長の小林秀一郎でございます。

○小林保健所準備課長 小林でございます。よろしくお願いいいたします。

○根本保健福祉部長兼福祉事務所長 どうぞよろしくお願いいいたします。

○田口委員長 ここで、秋葉副市長がお見えになりましたので、自己紹介をお願いいたします。

○秋葉副市長 副市長の秋葉でございます。どうぞよろしくお願いいいたします。

○田口委員長 それでは、引き続き紹介をお願いいたします。

○清水消防長 続きまして、消防本部の異動職員を御紹介申し上げます。

参事兼消防救助課長の太越唯行でございます。

○太越消防本部参事兼消防救助課長 太越です。よろしくお願いいいたします。

○清水消防長 以上です。どうぞよろしくお願いいいたします。

○七字教育部長 初めに、私、このたび教育部長を拝命いたしました七字裕二でございます。どうぞよろしくお願いいいたします。

それでは、続きまして、教育委員会の異動がございました課長職以上の職員を御紹介いたします。

参事兼学校教育課長、鈴木秀樹でございます。

○鈴木教育委員会事務局教育部参事兼学校教育課長 鈴木です。よろしくお願いいいたします。

- 七字教育部長 教育企画課長，三宅修でございます。
  - 三宅教育企画課長 三宅でございます。どうぞよろしく願ひいたします。
  - 七字教育部長 幼児教育課長，鈴木功でございます。
  - 鈴木幼児教育課長 鈴木功でございます。どうぞよろしく願ひいたします。
  - 七字教育部長 学校施設課長，埴敏之でございます。
  - 埴学校施設課長 埴でございます。よろしく願ひいたします。
  - 七字教育部長 生涯学習課長，大澤秀樹でございます。
  - 大澤生涯学習課長 大澤です。よろしく願ひいたします。
  - 七字教育部長 総合教育研究所副所長，小川佐栄子でございます。
  - 小川総合教育研究所副所長 小川でございます。どうぞよろしく願ひいたします。
  - 七字教育部長 以上でございます。どうぞよろしく願ひいたします。
  - 田口委員長 次に，当委員会の出席者以外の役付職員につきまして，変更がございました職員の紹介を行います。
- お手元に配付してあります，文教福祉委員会役付職員配置図に沿って，保健福祉部から順次，紹介を願ひます。
- 小山福祉総務課長 それでは，4月1日付の人事異動に伴う福祉総務課の新任の役付職員を紹介いたします。
- 初めに，臨時福祉給付金担当副参事の亀井俊道でございます。
- 亀井福祉総務課副参事 亀井でございます。どうぞよろしく願ひいたします。
  - 小山福祉総務課長 同じく同和対策担当副参事の中村哲也でございます。
  - 中村福祉総務課副参事 中村です。よろしく願ひいたします。
  - 小山福祉総務課長 課長補佐の中村哲彦でございます。
  - 中村福祉総務課長補佐 中村です。どうぞよろしく願ひいたします。
  - 小山福祉総務課長 ふれあいの館館長の雨谷由香里でございます。
  - 雨谷ふれあいの館館長 雨谷です。どうぞよろしく願ひいたします。
  - 小山福祉総務課長 以上でございます。どうぞよろしく願ひいたします。
  - 斉藤生活福祉課長 続きまして，生活福祉課でございます。
- 副参事兼課長補佐の岩谷勉です。
- 岩谷生活福祉課副参事兼課長補佐 岩谷でございます。よろしく願ひいたします。
  - 斉藤生活福祉課長 課長補佐の國井敦男です。
  - 國井生活福祉課長補佐 國井です。よろしく願ひいたします。
  - 斉藤生活福祉課長 保護第4係長の平山康司です。
  - 平山保護第4係長 平山です。よろしく願ひいたします。
  - 斉藤生活福祉課長 保護第8係長の加藤木宏志です。
  - 加藤木保護第8係長 加藤木と申します。よろしく願ひいたします。

- 齊藤生活福祉課長 どうぞよろしくお願いいたします。
- 平澤障害福祉課長 続きまして、障害福祉課の役付職員を御紹介申し上げます。  
課長補佐の堀野辺直でございます。
- 堀野辺障害福祉課長補佐 堀野辺直です。よろしくお願いいたします。
- 平澤障害福祉課長 給付係長の太田礼子でございます。
- 太田給付係長 太田礼子です。よろしくお願いいたします。
- 平澤障害福祉課長 どうぞよろしくお願いいたします。
- 谷津高齢福祉課長 異動のありました高齢福祉課の役付職員を御紹介いたします。  
副参事兼課長補佐，谷津賢一でございます。
- 谷津高齢福祉課副参事兼課長補佐 谷津です。よろしくお願いいたします。
- 谷津高齢福祉課長 地域支援センター所長，野口奈津子でございます。
- 野口地域支援センター所長 野口と申します。よろしくお願いいたします。
- 谷津高齢福祉課長 高齢福祉係長，美齊津諭代でございます。
- 美齊津高齢福祉係長 美齊津と申します。よろしくお願いいたします。
- 谷津高齢福祉課長 どうぞよろしくお願いいたします。
- 柴崎福祉事務所参事兼子ども課長 子ども課の役付職員を御紹介申し上げます。  
課長補佐の岩上健一でございます。
- 岩上子ども課長補佐 岩上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 柴崎福祉事務所参事兼子ども課長 相談係長の中嶋純一でございます。
- 中嶋相談係長 中嶋と申します。よろしくお願いいたします。
- 柴崎福祉事務所参事兼子ども課長 以上，よろしくお願いいたします。
- 川津保健福祉部参事兼国保年金課長 続きまして，国保年金課の役付職員を御紹介いたします。  
課長補佐の藪田照美でございます。
- 藪田国保年金課長補佐 藪田と申します。よろしくお願いいたします。
- 川津保健福祉部参事兼国保年金課長 後期高齢者医療係長の阿部若葉でございます。
- 阿部後期高齢者医療係長 阿部と申します。よろしくお願いいたします。
- 川津保健福祉部参事兼国保年金課長 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 荻沼介護保険課長 それでは，続きまして，介護保険課の役付職員を紹介いたします。  
課長補佐兼指導係長の深谷浩一でございます。
- 深谷介護保険課長補佐兼指導係長 深谷と申します。よろしくお願いいたします。
- 荻沼介護保険課長 給付係長の鈴木明子でございます。
- 鈴木給付係長 鈴木と申します。よろしくお願いいたします。
- 荻沼介護保険課長 どうぞよろしくお願いいたします。
- 大曾根保健福祉部参事兼保健センター所長 続きまして，保健センターの役付職員を御紹介いたします。  
副参事の小林かおりでございます。

- 小林保健センター副参事 小林でございます。よろしくお願ひいたします。
- 大曾根保健福祉部参事兼保健センター所長 次長の加藤浩でございます。
- 加藤保健センター次長 加藤と申します。よろしくお願ひいたします。
- 大曾根保健福祉部参事兼保健センター所長 管理係長の遠西紀男でございます。
- 遠西管理係長 遠西と申します。よろしくお願ひいたします。
- 大曾根保健福祉部参事兼保健センター所長 どうぞよろしくお願ひいたします。
- 小林保健所準備課長 続きまして、保健所準備課に配属となりました役付職員を御紹介申し上げます。  
課長補佐兼準備係長の太田和成でございます。
- 太田保健所準備課長補佐兼準備係長 太田と申します。よろしくお願ひします。
- 小林保健所準備課長 どうぞよろしくお願ひいたします。
- 小泉消防本部参事兼消防総務課長 続きまして、消防本部の役付職員の紹介をさせていただきます。  
まず、消防総務課でございますが、課長補佐の猿田純夫でございます。
- 猿田消防総務課長補佐 猿田と申します。よろしくお願ひいたします。
- 小泉消防本部参事兼消防総務課長 どうぞよろしくお願ひいたします。
- 大内火災予防課長 続きまして、火災予防課の役付職員を御紹介いたします。  
予防係長の河原井豊でございます。
- 河原井予防係長 河原井でございます。よろしくお願ひします。
- 大内火災予防課長 どうぞよろしくお願ひいたします。
- 大越消防本部参事兼消防救助課長 続きまして、消防救助課の役付職員を紹介します。  
副参事兼課長補佐の箕輪重美です。
- 箕輪消防救助課副参事兼課長補佐 箕輪でございます。よろしくお願ひします。
- 大越消防本部参事兼消防救助課長 課長補佐の根本寿之です。
- 根本消防救助課長補佐 根本と申します。よろしくお願ひします。
- 大越消防本部参事兼消防救助課長 同じく課長補佐、星毅雄でございます。
- 星消防救助課長補佐 星でございます。よろしくお願ひします。
- 大越消防本部参事兼消防救助課長 消防救助係長の江橋浩です。
- 江橋消防救助係長 江橋です。よろしくお願ひします。
- 大越消防本部参事兼消防救助課長 指令センター係長の大図要之です。
- 大図指令センター係長 大図と申します。よろしくお願ひいたします。
- 大越消防本部参事兼消防救助課長 通信係長の鈴木茂です。
- 鈴木通信係長 鈴木と申します。よろしくお願ひします。
- 大越消防本部参事兼消防救助課長 以上、よろしくお願ひいたします。
- 石田救急課長 続きまして、救急課の役付職員を御紹介いたします。  
課長補佐の大信成人でございます。
- 大信救急課長補佐 課長補佐をしております大信と申します。よろしくお願ひします。

- 石田救急課長 以上でございます。よろしくお願いいたします。
- 鈴木北消防署長 続きまして、北消防署の役付職員を御紹介いたします。  
副参事、植木和弘でございます。
- 植木北消防署副参事 植木です。よろしくお願いいたします。
- 鈴木北消防署長 副署長補佐、柄井益幸でございます。
- 柄井北消防署副署長補佐 柄井です。よろしくお願いいたします。
- 鈴木北消防署長 救急係長の栗原政人でございます。
- 栗原救急係長 栗原でございます。よろしくお願いいたします。
- 鈴木北消防署長 以上でございます。よろしくお願いいたします。
- 石川南消防署長 続きまして、南消防署役付異動職員を御紹介いたします。  
副署長の大槻重義でございます。
- 大槻南消防署副署長 大槻です。よろしくお願いいたします。
- 石川南消防署長 副署長補佐の大塚芳行でございます。
- 大塚南消防署副署長補佐 大塚です。よろしくお願いいたします。
- 石川南消防署長 消防救助係長の武藤力でございます。
- 武藤消防救助係長 武藤でございます。よろしくお願いいたします。
- 石川南消防署長 救急係長の稲川博邦でございます。
- 稲川救急係長 稲川でございます。よろしくお願いいたします。
- 石川南消防署長 緑岡出張所長の菅谷剛でございます。
- 菅谷緑岡出張所長 菅谷でございます。よろしくお願いいたします。
- 石川南消防署長 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 三宅教育企画課長 続きまして、教育企画課の役付職員を御紹介いたします。  
副参事の川俣智でございます。
- 川俣教育企画課副参事 川俣です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 三宅教育企画課長 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 鈴木教育委員会事務局教育部参事兼学校教育課長 続きまして、学校教育課の役付職員を御紹介いたします。  
課長補佐の山田規生でございます。
- 山田学校教育課長補佐 山田です。よろしくお願いいたします。
- 鈴木教育委員会事務局教育部参事兼学校教育課長 学事係長の原田真幹でございます。
- 原田学事係長 原田です。よろしくお願いいたします。
- 鈴木教育委員会事務局教育部参事兼学校教育課長 保健給食係長の相沢秀幸でございます。
- 相沢保健給食係長 相沢です。よろしくお願いいたします。
- 鈴木教育委員会事務局教育部参事兼学校教育課長 学校給食共同調理場管理係長の勝又崇文でございます。
- 勝又学校給食共同調理場管理係長 勝又です。よろしくお願いいたします。

- 鈴木教育委員会事務局教育部参事兼学校教育課長 学校給食共同調理場経理係長，武内祐子でございます。
- 武内学校給食共同調理場経理係長 武内です。よろしくお願いします。
- 鈴木教育委員会事務局教育部参事兼学校教育課長 以上でございます。よろしくお願いいたします。
- 鈴木幼児教育課長 続きまして，幼児教育課の役付職員を紹介いたします。  
幼児教育課長補佐の菊池精一でございます。
- 菊池幼児教育課長補佐 菊池です。よろしくお願いします。
- 鈴木幼児教育課長 緑岡幼稚園長，佐藤典子及び笠原幼稚園長，小川洋子につきましては，本日，入園式のため欠席でございます。  
続きまして，白梅保育所長の松本千鳥でございます。
- 松本白梅保育所長 松本でございます。よろしくお願いいたします。
- 鈴木幼児教育課長 杉山保育所長の磯崎裕子でございます。
- 磯崎杉山保育所長 磯崎でございます。よろしくお願いいたします。
- 鈴木幼児教育課長 緑岡保育所長の青木恵美子でございます。
- 青木緑岡保育所長 青木でございます。よろしくお願いいたします。
- 鈴木幼児教育課長 城東保育所長の小林幸子でございます。
- 小林城東保育所長 小林でございます。よろしくお願いいたします。
- 鈴木幼児教育課長 幼児教育係長の神長央でございます。
- 神長幼児教育係長 神長でございます。よろしくお願いいたします。
- 鈴木幼児教育課長 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 埴学校施設課長 続きまして，学校施設課役付職員を御紹介いたします。  
課長補佐，五上正嗣でございます。
- 五上学校施設課長補佐 五上です。よろしくお願いします。
- 埴学校施設課長 経理係長，鈴木敦子でございます。
- 鈴木経理係長 鈴木です。よろしくお願いいたします。
- 埴学校施設課長 施設係長，長谷川正幸でございます。
- 長谷川施設係長 長谷川です。よろしくお願いします。
- 埴学校施設課長 以上でございます。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 続きまして，生涯学習課の職員を紹介させていただきます。  
社会教育担当副参事の加藤木長生でございます。
- 加藤木生涯学習課副参事 加藤木です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 副参事兼課長補佐の上田航也でございます。
- 上田生涯学習課副参事兼課長補佐 上田です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 副参事兼少年自然の家所長の大平高生でございます。
- 大平生涯学習課副参事兼少年自然の家所長 大平でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 よろしくお願いします。



これより各市民センター所長を紹介させていただきます。

課長補佐兼三の丸市民センター所長の車田一史でございます。

- 車田生涯学習課長補佐兼三の丸市民センター所長 車田でございます。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、五軒市民センター所長の野上冬樹でございます。
- 野上生涯学習課長補佐兼五軒市民センター所長 野上です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、新莊市民センター所長の齊藤雅子でございます。
- 齊藤生涯学習課長補佐兼新莊市民センター所長 齊藤です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、城東市民センター所長の柳橋剛でございます。
- 柳橋生涯学習課長補佐兼城東市民センター所長 柳橋でございます。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、竹隈市民センター所長の笹島武でございます。
- 笹島生涯学習課長補佐兼竹隈市民センター所長 笹島です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、常磐市民センター所長の山田斉でございます。
- 山田生涯学習課長補佐兼常磐市民センター所長 山田でございます。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、緑岡市民センター所長の飯村博史でございます。
- 飯村生涯学習課長補佐兼緑岡市民センター所長 飯村でございます。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 続きまして、課長補佐兼寿市民センター所長の飯島裕でございます。
- 飯島生涯学習課長補佐兼寿市民センター所長 飯島です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、上大野市民センター所長、寺山善一につきましては、公務のため欠席でございます。

同じく、柳河市民センター所長の宮本一也でございます。

- 宮本生涯学習課長補佐兼柳河市民センター所長 宮本です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、渡里市民センター所長の一木淳でございます。
- 一木生涯学習課長補佐兼渡里市民センター所長 一木です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、吉田市民センター所長の山田和久でございます。
- 山田生涯学習課長補佐兼吉田市民センター所長 山田と申します。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、酒門市民センター所長の木下雅仁でございます。
- 木下生涯学習課長補佐兼酒門市民センター所長 木下です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、石川市民センター所長の谷津宗一郎でございます。
- 谷津生涯学習課長補佐兼石川市民センター所長 谷津です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、飯富市民センター所長の津田一夫でございます。
- 津田生涯学習課長補佐兼飯富市民センター所長 津田と申します。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 続きまして、課長補佐兼国田市民センター所長の森田信行でございます。
- 森田生涯学習課長補佐兼国田市民センター所長 森田です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、桜川市民センター所長の飯島智でございます。
- 飯島生涯学習課長補佐兼桜川市民センター所長 飯島智です。よろしくお願いいたします。

- 大澤生涯学習課長 同じく、上中妻市民センター所長の久野智之でございます。
- 久野生涯学習課長補佐兼上中妻市民センター所長 久野と申します。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、山根市民センター所長の矢ノ倉鉄也でございます。
- 矢ノ倉生涯学習課長補佐兼山根市民センター所長 矢ノ倉です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、見川市民センター所長の海老澤守でございますが、本日、公務のため欠席でございます。
- 同じく、千波市民センター所長の蛭田伊美子でございます。
- 蛭田生涯学習課長補佐兼千波市民センター所長 蛭田です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、見和市民センター所長の藤枝一典でございます。
- 藤枝生涯学習課長補佐兼見和市民センター所長 藤枝です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく双葉台市民センター所長の浅野一志につきましては、公務のため欠席でございます。よろしくお願いいたします。
- 続きまして、課長補佐兼笠原市民センター所長の井上雄策につきましては、本日、所用のため欠席でございます。
- 同じく、赤塚市民センター所長の細谷潤でございます。
- 細谷生涯学習課長補佐兼赤塚市民センター所長 細谷でございます。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、吉沢市民センター所長の鯉淵理でございます。
- 鯉淵生涯学習課長補佐兼吉沢市民センター所長 鯉淵と申します。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、堀原市民センター所長の藤咲一臣でございます。
- 藤咲生涯学習課長補佐兼堀原市民センター所長 藤咲と申します。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、下大野市民センター所長の宮崎賢司につきましては、本日、所用のために欠席でございます。
- 同じく、稲荷第一市民センター所長の蛭田智則でございます。
- 蛭田生涯学習課長補佐兼稲荷第一市民センター所長 蛭田です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、稲荷第二市民センター所長の入野高司でございます。
- 入野生涯学習課長補佐兼稲荷第二市民センター所長 入野です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 同じく、大場市民センター所長の鈴木克明でございます。
- 鈴木生涯学習課長補佐兼大場市民センター所長 鈴木です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 みと好文カレッジ所長の小川さつきにつきましては、本日、病気のため欠席でございます。
- みと好文カレッジ指導係長の小泉雅史でございます。
- 小泉みと好文カレッジ指導係長 小泉です。よろしくお願いいたします。
- 大澤生涯学習課長 以上でございます。よろしくお願いいたします。
- 白石歴史文化財課長 続きまして、歴史文化財課の役付職員を紹介いたします。
- 世界遺産推進室長の小園江雄一でございます。

- 小園江世界遺産推進室長 小園江です。よろしくお願いします。
- 白石歴史文化財課長 課長補佐の菊池俊英でございます。
- 菊池歴史文化財課長補佐 菊池と申します。よろしくお願いいたします。
- 白石歴史文化財課長 埋蔵文化財センター所長の長谷川仁でございます。
- 長谷川埋蔵文化財センター所長 長谷川と申します。よろしくお願いします。
- 白石歴史文化財課長 博物館長兼大塚農民館長，坂本京子でございます。
- 坂本博物館長兼大塚農民館長 坂本でございます。よろしくお願いいたします。
- 白石歴史文化財課長 学芸係長の大高暁でございます。
- 大高博物館学芸係長 大高と申します。よろしくお願いいたします。
- 白石歴史文化財課長 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 五上教育委員会事務局教育部参事兼中央図書館長 続きまして，中央図書館の役付職員の御紹介をいたします。

中央図書館管理係長の柳橋敬子でございます。

- 柳橋中央図書館管理係長 柳橋です。よろしくお願いいたします。
- 五上教育委員会事務局教育部参事兼中央図書館長 次に，中央図書館図書係長兼内原図書館図書係長の宮崎和子でございます。
- 宮崎中央図書館図書係長兼内原図書館図書係長 宮崎です。よろしくお願いいたします。
- 五上教育委員会事務局教育部参事兼中央図書館長 以上です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 小川総合教育研究所副所長 続きまして，総合教育研究所の役付職員を御紹介いたします。

副参事兼研究研修係長の古橋賢治でございます。

- 古橋総合教育研究所副参事兼研究研修係長 古橋でございます。よろしくお願いいたします。
- 小川総合教育研究所副所長 副参事兼支援相談係長の春原孝政でございます。
- 春原総合教育研究所副参事兼支援相談係長 春原です。よろしくお願いいたします。
- 小川総合教育研究所副所長 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 龍田内原中央公民館長 続きまして，内原中央公民館の役付職員を紹介いたします。

公民館係長，岩田真一でございます。

- 岩田公民館係長 岩田と申します。よろしくお願いいたします。
- 龍田内原中央公民館長 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 田口委員長 以上で役付職員の紹介を終わります。

次に，当委員会の担当書記がかわりましたので，自己紹介をお願いします。

- 大内書記 大内です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 田口委員長 それでは，よろしくお願いいたします。

これより議事に入ります。

〔「ちょっといいですか」と呼ぶ者あり〕

- 田口委員長 袴塚委員。

○袴塚委員 すみません、今、いろいろ役付職員を紹介いただいたんですが、今回、教育委員会のほうで併任発令になって、それで恐らく、各市民センター所長さんのお名前が今日紹介されたんだというふうに思うんですよ。できれば、後で結構ですから、どこの市民センター所長さんなのかというのが、これだと、今、紹介はされたんだけど、わからないんだよ。だから、どこの市民センター所長さんが誰になったという資料を、すみませんが、後で御配付いただければありがたいんですが。すみません、よろしくどうぞ。

○田口委員長 それでは、よろしく願いいたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、請願審査を行います。

当委員会に付託され、継続審査となっております平成27年請願第1号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出を求める請願、平成27年請願第2号 「県立学校の存続と高校の少人数学級実現を求める意見書提出」に関する請願及び平成27年請願第6号 学校図書館に専任の学校司書の配置を求める請願につきましては、本日のところは継続審査といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○田口委員長 御異議なしと認め、継続審査といたします。

以上で請願審査を終わります。

次に、報告事項の説明に入ります。

それでは、平成27年度水戸市スーパープレミアム商品券事業の実績及び効果について、執行部から説明願います。

柴崎参事兼子ども課長。

○柴崎福祉事務所参事兼子ども課長 それでは、平成27年8月10日の当委員会におきまして、木本委員から資料請求がございました平成27年度水戸市スーパープレミアム商品券事業の実績及び効果につきまして、子ども課及び高齢福祉課提出の資料により御説明申し上げます。よろしく願いいたします。

水戸市スーパープレミアム商品券事業につきましては、市内消費の拡大による地域経済の活性化を目指しまして実施したものでございます。また、子育て世帯や高齢者への生活支援といたしまして、経済的負担の軽減を図るために、プレミアム商品券の購入に対し、市独自の多子世帯応援購入補助、そして、県補助による子育て家庭応援購入補助及びシニア応援購入補助の割引販売を実施いたしました。

初めに、1の販売状況についてでございます。一般販売分につきましては、1セット1万2,000円分の商品券を1万円で販売しまして、8万4,675セットの商品券の販売をいたしたところでございます。また、生活支援・購入補助による割引販売分につきましては、1セット1万2,000円分の商品券を、さらに2,000円割り引きまして8,000円で販売し、子育て家庭応援割引販売分としては7,904セット、シニア応援割引販売分としては1万3,195セット、多子世帯応援割引販売分として3,769セットを販売いたしました。合わせまして10万9,543セットを販売し、総額面額としましては、13億1,451万6,000円の商品券を発行した結果と出ております。

次に、2の利用状況についてでございますが、平成27年8月21日から平成28年1月31日までを利

用期間といたしまして、13億1,077万8,000円が利用され、その利用率は99.72%でございました。

次に、購入者アンケート調査の結果、効果分析についてでございます。アンケートの実施概要ですが、調査対象が商品券の購入者、調査方法につきましては、商品券販売時に配付いたしました取扱店一覧にアンケートはがきを掲載いたしまして、購入者に返信いただいたものを回収して、集計、分析をいたしました。調査期間は、発売日から平成27年11月30日まででございます、その調査期間内に回答があったものうち、有効な3,327件を対象としてまとめております。

続きまして、2の調査内容、結果の概要についてでございます。調査内容は、表の左欄でございますように、商品券を主に利用した店舗、利用目的、ページを返していただきまして、利用目的別に見た利用額、現金等の追加金額、商品券をきっかけに購入した商品などの代表的なもの、そして、1万円以上の商品、サービスの購入などについて尋ねております。

右欄の結果につきましては、次の(3)のアンケート結果の分析において説明させていただきますので、あわせて御参照いただければと思います。

(3)のアンケート結果の分析でございます。まず、事業の効果につきましては、前ページの下段になりますが、利用目的を見ますと、普段の買い物が6割弱を占めまして、生活支援の側面が強かったということがわかりますが、商品券をきっかけに購入した商品なども4割強と、消費喚起にも一定の効果があったと考えられます。

また、戻っていただき、2ページ上段になりますが、利用目的別に商品券利用額と追加した金額の構成比を見ますと、普段の買い物よりも、商品券をきっかけに購入した商品などにおいて追加金額の割合が多く、普段の買い物については追加金額が約2割だったのに対しまして、商品券をきっかけに購入した商品などについては約3割と、1割の差が出ているところでございます。

②の主に利用された業種、品目でございますが、再度、前のページの上段に戻っていただきます。商品券が利用された主な業種を見ますと、食料スーパー・総合スーパーなどが9割弱と突出して高く、飲食店・食事処が4割強、衣料品店が3割強と続いてございます。こちらは複数回答になってございます。

また、たびたび申しわけございません、2ページ中段の商品券をきっかけに購入した商品などにおきましては、衣類、寝具、家電製品、外食の利用額が高く、また、追加支出も見られることから、消費喚起効果が高かったものと考えております。

③の消費喚起効果の推計といたしまして、アンケート結果による、商品券をきっかけに購入した商品などの割合が43.7%、また、商品券に追加した金額の割合が20.7%という数字が出ておりますことから、平成27年12月末速報値としての総利用額10億5,100万円をもとに算出いたしました本事業の消費喚起効果は約6億7,700万円と推計されます。これを、最終額でございます平成28年1月末の総利用額13億1,077万8,000円に同じ比率を掛け合わせますと、消費喚起効果は約8億4,400万円と推計されるところでございます。

④でございます。最後に分析のまとめといたしまして、今回の事業の効果は、普段の買い物の比率が高かったことから、生活支援が主体となっている一方で、消費喚起につきましても、推計約8億4,400万

円の効果があって、地元消費喚起及び地域経済活性化に大きく寄与したものと考えております。

また、利用された業種につきましては、一部に集中していた状況が見られたことから、より広範に経済効果が行き渡る方策等を今後検討する必要があると考えております。

以上、御報告いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

○**田口委員長** それでは、委員より御意見等がございましたら、発言願ひます。

木本委員。

○**木本委員** まず、御説明いただきましてありがとうございます。

消費喚起効果が6億円以上あったと、13億円幾ら使ったうち、6億円以上あったということで、今回、生活支援的なところに非常に重きを置いて、子育て家庭ですとかシニア応援、多子世帯等にも配慮したというところが多いと思うんですけども、これからも、もしかしたらですけども、高齢者の方にそういったことが、国のほうでも予定されているようなことがあるんですけども、ちょっと気になったのが、購入場所が食料スーパーとか総合スーパーなどということで、基本的にふだんの買い物に使っている、プラスチック、今回のこれをきっかけに、衣類とか寝具とか家電製品等々ということなんですけれども、これ、スーパーとか電化製品で大体イメージがつくんですけども、何となく、私の勝手な推測は、消費地として多いのは総合スーパーとか、イオンモールとか、ああいうところが多いのかなとかというふうに勝手に推測してしまうんですけども、ここら辺と、地域のスーパーで買ったりですとか、あとは大手、何というんですか……

[発言する者あり]

○**木本委員** そうそう、そういうことです。変な話、中心市街地の活性化とかと言いながら、こういったものが使われていると思うんですけども、消費地としての傾向というのは、何かわかるものはあるんですかね。

○**田口委員長** 柴崎参事兼子ども課長。

○**柴崎福祉事務所参事兼子ども課長** 個別の店舗の詳細なデータは持ち合わせてはおりませんが、今回のスーパープレミアム商品券につきましては、1万2,000円の額面のうち、一般店のみで利用できるものが5枚5,000円分、そして、大型店、一般店共通で利用できるものが7,000円分として分けてございましたけれども、その結果といたしましては、一般店のみという部分が金額で55%、逆に大型店・一般店共通券の利用につきましては45%ということで、一般店の利用のほうが高い比率になってございます。こちらは昨年度までと、規模もまた異なりますけれども、参加店舗数が倍以上の1,069店舗になったということからも、より一般店が利用しやすくなったというふうには分析しております。

○**田口委員長** 木本委員。

○**木本委員** わかりました。今回のまとめでも、一部の業種、商品サイドに集中していた状況が見られるということで、これをどういうふうに、こういった商品券を使って、消費誘導ができるかどうかというのは、これは個人の趣味、嗜好とか、その時々を経済状況によると思うんですけども、これから恐らく、こういったことをまた国のほうで考えて、いろいろな世代をターゲットにしたりですとか、あとは、地方創生的な意味合いを含めてやったりとか、いろいろあると思うんですけども、これが水戸の経済にどのぐらいの、

一定のインセンティブを与えたのかというのは、ちょっと正直わかりません。

ただ、これからも、これが一つのきっかけとなってより消費喚起につながるような施策を、今回の分析を、これからまた検討していくということですので、それに期待したいということを述べたいと思います。

以上です。

○田口委員長 高倉委員。

○高倉委員 今回の事業については、約8億4,400万円の消費喚起があったということで、一定の効果があったということが分析からわかるんですが、販売状況についてですが、今回、生活支援の側面ということで、子育て家庭ですとか、シニアの方向けに割引率が高い販売をされたということなんですが、その中でちょっと気になるのが、子育て家庭応援、あるいは多子世帯応援というのが、大体4割、7割ぐらいの販売実績だということなんですが、これについては、市のほうではどういう分析をされているのでしょうか。

○田口委員長 柴崎参事兼子ども課長。

○柴崎福祉事務所参事兼子ども課長 ただいまの御質問でございます、子育て家庭応援につきましては、いばらきKids Clubカードを持っておられる世帯を対象としておりましたが、この事業とシニア応援、いずれも県のほうの追加の補助事業としての設定でございまして、全県下の全市町村に対し配分をいただいたわけでございますが、子育て家庭応援につきましては、世帯数の約7割、そしてシニアのほうは、個人ごとでございますけれども、15%というような設定で配分をいただきました。

また、多子世帯応援につきましては、3人以上のお子さんをお持ちの世帯を対象といたしまして、市独自で取り組んでおりますけれども、こちらは5,000セットという見込みは、全ての世帯の数で設定してございます。結果といたしまして、重複する対象の方もいらっしゃったということと、それから、中には子育て家庭応援の対象となっている世帯の中では、1セット8,000円という支出が困難だった貧困世帯もあったのかなというふうな推測をするところでございます。

いずれにいたしましても、今後、生活支援の側面で、またこういった事業を実施するとなったときには、その辺のところも十分に分析しまして、広く行き渡るような方策を検討させていただきたいと考えております。

○田口委員長 高倉委員。

○高倉委員 今回の配分、こういった形で行うのは初めてですので、ぜひ今回の、そういった販売の状況などを踏まえて、本来は買いたかったけれども買えない、そういう御家庭も、もしかしたらあったのかなと思いますので、販売するセット数であるとか、これからいろんな工夫も必要なのかなというふうに感じております。

あと、今回、利用期間が、8月のちょうど夏の時期から、また秋の時期ということで、この辺の期間の部分もあったのかなと。例えば、子育て家庭であれば、必需品になるものを買うのが、どちらかという春先であるとか、そういう場合が多いということも、ちょっと状況としてあるのかなとは思いますが。ですので、今回の分析を踏まえて、今後、水戸市でも、プレミアム商品券などの事業を独自でやっているということもありますので、またさらに、こういったものを生かしていただきたいなと思います。よろしく申し上げます。

○田口委員長 ほかにございませんか。

袴塚委員。

○袴塚委員 すみません、今、高倉委員がちょっとおっしゃったんですけども、いずれにしても、この分析結果表の売り上げ部分だけを見ると、これ、今の経済状況を如実に反映しているのではないかと。いわゆるシニア応援、いばらきシニアカードを持っている方々は、1万セットに対して約1万3,000セット買っているということですね。若い方々がなかなか、どうもお金がなくて買えなかったというようなことになると、子どもを育てている方々の経済負担というのは、やっぱりこの表を見ても、相当ウエートが高いのではないかと。年寄りには年金とか何かで比較的裕福に過ごしている、こういうことが読める。

それから、先ほど木本委員がおっしゃった経済効果についてですけども、一般の小売店のお話を聞いてみると、個店が集まっているところについては、恐らく、かなりこういう経済効果が出たんだと思うんだ。ところが、いわゆる集合個店じゃなくて一般個店、要するに1軒構えている人、やっぱり市内の集合していない個店については、なかなかお客さんに来ていただけなかった、比較的。当然ながら店側にも魅力がないとか、いろんな問題があるんだというふうに思いますけれども、なかなか生鮮食品、それから衣料、スーパーというのが市内には比較的少ない。そういう状況の中で、市内の経済効果ということになると、非常に厳しい部分があったのではないかと。

だから、ここで衣料とか総合スーパーとか食品とかということになると、どうしても、ある程度の大きいスーパー、こういうところへお客さんが流れてしまっているということが、現状あるのではないかなと。これは世の中の消費行動の流れですから、いたし方ないとしても、次回の反省点として、いわゆる子育て支援とか多子世帯支援ということをやるとすれば、やっぱりこの方たちが、8,000円にしても、5セット買えば4万円お金がかかる。この4万円を、一時的に出すことが非常に厳しい状況であるということが、ちょっと読み取れるように思うんですが、いずれにしても、そういったところの反省点を踏まえながら、次回おやりになるとすれば、これは国の政策の一つですから、水戸市でどうのこうのということにはいかないのかもわからないけれども、逆に言えば、水戸市が子育て支援をどういうふうに支援していくのかということにもつながると思うので、これこそ水戸市の独自の政策をここに加味するとか、いろんな方法があるのではないかとというふうに思いますので、意見として申し上げます。

○田口委員長 ほかにございませんか。

[発言する者なし]

○田口委員長 ないようですので、この件について終わります。

次に、この際、特に執行部から発言を求められておりますので、これを許します。

平澤障害福祉課長。

○平澤障害福祉課長 障害福祉課より御報告させていただきます。

昨日、4月10日の日曜日でございますが、障害福祉課所管の施設におきまして、盗難事件の発生を発見いたしました。対象施設でございますが、水戸市見川町でございます水戸市障害者教養文化体育施設、水戸サン・アビリティーズでございます。

経緯といたしましては、昨日、4月10日日曜日8時20分、水戸サン・アビリティーズ所長が勤務のた



め出勤いたしましたところ、事務所が荒らされていることに気づきました。建物裏の男子トイレのガラスが破られており、そちらが侵入経路と思われます。事務所ドアのガラスも破られておまして、金銭管理をいたしておりました事務機の引き出しがこじあけられておりました。建物内に警備をかけておりましたが発報せず、こちらにつきましては詳細を調査中でございます。

現時点での被害金額でございますが、4月8日金曜日、9日土曜日の使用料7,850円、施設内に販売所を設けておりました授産製品の売り上げ、つり銭等、こちらについては詳細を調査中でございます。

水戸署へ通報いたしまして、現場検証を行いまして、詳細につきましては調査中でございます。詳細が判明次第、委員の皆様にはファクス等で御報告をさせていただきたいと考えております。

報告は以上でございます。

○田口委員長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

○袴塚委員 今、課長さんの説明の中で、つり銭等についてはわからないので調査中という話があったよね。これ、一般の店では考えられない。前日閉めるときに、レジ使っているか、どうやっているか知らないけれども、今日の売り上げを幾らで、要するにつり銭で、一定に置いておくはずだね。例えば1万円、5,000円札1枚の1,000円札が4枚とか、500円とかというふうに置いているはずなんですよ。

だから、せめてつり銭ぐらいはわかるようにしておかないと、これ、逆に言うと、井勘定でやっているのという話になっちゃうんで、答弁はいいですよ。答弁は調査中ですからいいですけども、そういうやり方をしているはずなんだと思うんだよね。やっていなかったらおかしいんで、ちょっと次回、もし報告するとすれば、この辺はきちっと報告できるように、すみません。

○田口委員長 ほかにございませんか。

[発言する者なし]

○田口委員長 それでは、この件については終わります。

次に、その他に入ります。

委員から何かございましたら、発言願います。

高倉委員。

○高倉委員 すみません、先ほど継続審査になりました請願に関してなんですが、今後審査をする上で、ちょっと資料をいただければと思うんですが、平成27年請願第6号の学校図書館に専任の学校司書の配置を求める請願ということで、新年度、学校に対する学校司書ですか、配置という計画があったと思うんですが、それについての資料ですね。できれば次回ぐらいまでにいただければ、具体的に、十分な審査ができるのかなと思いますので、執行部のほうで可能であれば、そういう資料をいただければと思うんですが、いかがでしょうか。

○田口委員長 高倉委員、今、学校司書の配置でのあれですか。学校図書館。

五上館長、司書の配置というか、これからの学校司書に対する考え方といいますか、その配置について、民間委託になった関係上、ちょっと説明してください。

○五上教育委員会事務局教育部参事兼中央図書館長 現在、学校図書館支援事業というのを今年度から進めております。そちらのほうで、現在、小学校を巡回しまして、状況調査が始まっていますので、次回の委員

会までに計画は、ほぼ間に合うかと思えますので、そのときに報告をしたいと思えます。

○田口委員長 ただいま高倉委員のほうから資料請求がございました。

お諮りいたしたいと思えます。本委員会として要求することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○田口委員長 御異議なしと認め、さように決しました。

執行部におかれましては、次回の委員会に提出をお願いいたします。

ほかにございせんか。

袴塚委員。

○袴塚委員 今日、先ほどちょっと申し上げましたけれども、併任発令になって、今度は、市民センターが社会教育法にのっとりそれぞれの事業が展開できると、もしくは御指示をいただけると、こういうふうな状況になったんだというふうに思えます。

したがって、今後、市民センターを活用して、みと好文カレッジが一生懸命やってくられたメニューをこれからどのように推進していくのかと。こういうふうなことが一番大事ではないかというふうに思うんですが、次回まで結構でございますので、その辺の考え方、もしくは、何か計画があれば、お示しをいただければうれしく思えますので、よろしくをお願いします。

○田口委員長 ただいま袴塚委員のほうから、資料請求といたしますか、考え方に対する説明の要求といたしますか、文書等でもいいので、そういうことで、本委員会として要求するということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○田口委員長 御異議なしと認め、さように決しました。

執行部におかれましては、次回の委員会に提出をお願いしたいというふうに思っております。

それでは、ほかにございせんか。

〔発言する者なし〕

○田口委員長 それでは、この件について終わります。

それでは、以上をもちまして、本日の文教福祉委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前11時 1分 散会